

関東支部便り

近況報告

樺島 紳一郎

支部のメイン・イベントの一つ、全国大会応援は、幸いポカポカ陽気の絶好のグライダー日和に恵まれました。

3月6日、新宿西口の新宿センタービル前に弁当持参、ガソリン代割勘、差し入れは各人1,000円とドライに割切って集合した面々は、河合達也、千葉麗三、榎原俊司、梶田英之、樺島紳一郎、西村功一、松岡慎二の7名、それに現地へ直行した、佐野眞、斉藤憲一郎他に3月5日、ひと足先に現地を訪れた北林英之の計10名は、母校応援とピクニックを兼ねた楽しい1日を過ごしました。

今回の大会応援について支部の皆様に発送した案内状は40通。出欠のご返事のあったのが27通。そして参加下さった会員は10名と言うことになります。3月は社会人にとって何かと忙しい季節ですが、何卒今後も引き続き積極的な応援を心からお願い致します。

×× ×× ××

4月に久し振りに静岡在住の岩ヶ谷氏(34年卒)にお会いしました。静岡県及び市には他に友廣氏(19年度)、小野田氏(44年卒)、杉本氏(50年卒)がおられますが、岩ヶ谷氏から静岡の人にも翔友会関東支部のニュースを流してくれるよう依頼がありましたので、そのように致します。今後は関東支部を関東甲信越と勝手に解釈して新潟市在住の田中信氏等にも当支部の連絡事項を送付する予定です。

×× ×× ××

静岡在住小野田氏が先日出張で突然上京してこれ、40年卒の梶田氏を交えて新幹線の最終まで一杯やり大いにメートを上げました。こういうのが一番楽しいですね。

(昭和40年卒)

東海支部便り

63年を振り返って

向井 清人

東海支部はこれといった活動もせず63年が暮れた。強いて活動をあげるとまず例年通り、木曽川合宿が行われる際、会員が結集して、東海支部のメンバーと関西支部のメンバーとの情報交換ならびに訓練学生への激励が主な活動であった。その他に9月には箕浦君が東海支部代表で北海道に大空へのロマン、明日へのロマンを求めて、グライダー基地調査に参加してくれ、日本の中でグライダーをやるには一番条件のよい所ではないかとの評価を持って帰ってきてくれた。

また、10月8日には一圓氏の計らいで南村氏に骨を折ってもらい、第2回翔友会ゴルフコンペが彦根 C.C.で行われ、東海支部から、吉川氏をはじめ、箕浦君と私が参加、関東の河合氏ならびに、関西の佐々木氏をはじめとする7人の侍と話術と芝刈り技術向上に努めた。勝負については、7人の侍を率いる親分(佐々木親分)に持って行かれたものの、大変楽しい秋の1日を過ごすことができた。

最後に、11月には吉川氏をはじめ、若手の箕浦、坂田OBと私が集まり、できれば、東海支部新年会でもやろうと、話し合いをして、63年の幕を降ろした。

(昭和36年卒)